

紅海・スエズ通航再開で混雑予測

PSA Internationalが対応準備進める

シンガポールのターミナルオペレーター、PSA Internationalは大手コンテナ船社のスエズ運河通航再開機運が高まっていることを受け、航路とスケジュール変更により積み替えハブであるシンガポールの寄港が増加、混雑が発生すると予測している。PSAの担当者が地元紙の取材に答えたもの。

船社はこの数週間、アジア／欧州航路で喜望峰への迂回から紅海・スエズ運河経由の航行を段階的に再開している。通航再開が進めばトランジットタイムは10～14日短縮し長期的には運賃が下がる見込みだが、航路変更にもなうスケジュールやサービスの調整によりシンガポールなどの主要ハブ港では短期的に寄港が増加するとみられている。

PSAでは特に航路変更後数週間はアジア向け東航のシンガポール寄港が急増しターミナル需要が増加すると予測、混乱を軽減するためトアス港の拡張やAIを活用

した効率化、顧客との連携強化などに取り組むとしている。

スエズ運河庁（SCA）によると昨年12月下旬、CMA CGM（仏）がアジア／北欧州航路のFAL3/AEU6/LL5 Service、アジア／地中海航路のPHOEX/AEM6/BEX2/AAS Service、Maerskが中東・インド亜大陸／北米東岸航路のMECL Serviceに投入するコンテナ船がそれぞれスエズ運河を通航した。

を担う海上輸送は、国民生活・経済活動に不可欠なインフラ。海上輸送に必要な船舶の安定供給を担う造船業は、経済安全保障の観点から重要な産業であり、同盟国等との協力の一層の活発化も期待されている。また、中国・韓国との厳しい競争の中で、近年の建造量が減少傾向にある一方で、世界の造船市場には、ゼロエミッション船に代表される次世代船舶の需要等、将来への可能性

造船再生ロードマップ策定 5本柱に建造能力倍増目指す

国土交通省と内閣府は昨年暮れ、国民生活や経済活動を支える我が国造船業を再生するため、関係省庁と連携しつつ、2035年における船舶建造能力の目標や、その実現に必要な総合的・戦略的な取組の絵姿を示す「造船業再生ロードマップ」を策定した。

ロードマップでは、現在約

900万gtの年間建造量を、2035年に「1,800万gt」に引き上げる目標を掲げ、(1)船舶建造体制の強靱化(2)造船人材の確保・育成(3)脱炭素化等を通じたゲームチェンジ(4)安定的な需要の確保(5)同志国・グローバルサウスとの連携、を5本柱に実現へ向け具体的な取組を進めていく。

四面を海に囲まれ、エネルギーや食料などの自給率が低い日本で、貿易量の99.6%

を担う海上輸送は、国民生活・経済活動に不可欠なインフラ。海上輸送に必要な船舶の安定供給を担う造船業は、経済安全保障の観点から重要な産業であり、同盟国等との協力の一層の活発化も期待されている。また、中国・韓国との厳しい競争の中で、近年の建造量が減少傾向にある一方で、世界の造船市場には、ゼロエミッション船に代表される次世代船舶の需要等、将来への可能性

中国・寧波で初の罰則執行 外国船搭載のStarlink通信に

中国政府はこのほど、SpaceX（米国）の低軌道衛星通信によるインターネットサービス、Starlinkを領海内で使用した外国船舶に対し初めて罰則を科した。寧波市海事局が寧波港での定期検査中に船舶のデッキ上のStarlink端末を発見し国家通信規制違反として取り締まったもの。該当船舶や罰金額などの罰則内容は明らかにしていないが、領海内を航行する外国船の海上衛星通信に対する初の執行措置となり、今後取り締まりが強まる可能性がある。

中国では国内の全ネットワークトラフィックは政府が管理するゲートウェイを通過す

ることを義務付け外国の通信サービスを厳しく規制している。Starlinkは従来の海上衛星通信に比べ速度が速く多くの国際船舶に導入されているが、無許可の無線トランスシーバー端末により中国内のゲートウェイを通さず衛星に直接データ送信しており、中国政府はこれを国家通信安全保障とデータ主権に対する根本的な脅威とみなし、25年6月に端末直結型衛星サービス規制を施行した。船舶の場合、沿岸から12海里以内の中国領海に入る前に端末を停止し



国際輸送ならお任せください

世界15カ国以上、30社超の信頼できるパートナーと共に、ドアツードア一貫輸送を提供しています。

LCL/FCL一貫輸送

Nippon Marine Logistics, Ltd.

Tokyo: 03-5649-9110

改訂新版

国内・国際物流コストダウン事例集

～初心者からエキスパートまで使える豊富な事例満載～

荻原 克郎・中畦 和美・藤井 昇【著】

ISBN978-4-900932-64-7
2015年9月刊

2013年8月発行「国内・国際物流コストダウン事例集」に、2014年7月号から月刊誌「荷主と輸送」に連載中の「物流効率向上講座」11回分を新たに加えた改訂新版。物流改善に力を入れる優良企業に直接取材した具体的な事例を掲載。関連するキャリアやフォワーダーの利益に相反すると思われがちな荷主のコストダウンは、効率的物流の構築、貿易の活性化、環境負荷への配慮など、トータルな意味で全体の利益につながります。簡単なコストダウンの実例から少々難解な事例まで、図解・写真を中心に説明した他の物流関連書籍には無いユニークな内容。初心者から物流エキスパートまで、幅広くお役に立ちます。

国内・国際物流コストダウン事例集

A5判、303頁 定価1,650円（税込）

株式会社 オーシャン コマース

TEL.03-3435-7630 FAX.03-3435-7896 info@ocean-commerce.co.jp

も広がっている。

こうした背景から、国交省と内閣府は、国民生活や経済安全保障を支える日本造船業を再生するため、関係省庁と連携しつつ、2035年における船舶建造能力の目標やその実現に必要な取組等を盛り込んだ「造船業再生ロードマップ」を策定したものの。

昨年12月23日に設置した「造船業再生に向けた検討会」で、今後、造船業の再生に向け、船舶建造体制の強靱化や造船人材の確保・育成など総合的な官民投資策に議論を深めていく。

印／中東／西ア・MIAX ケープタウン追加寄港

Hapag-Lloyd

Hapag-Lloyd（独）は今年月下旬からインド亜大陸／中東／西アフリカ航路の

Middle East India Africa Express (MIAX) を改編し、東航でケープタウンに追加寄港することで、地域間の接続性を強化する。

新MIAXは、1月22日ケープタウン入港予定の“Gialova”（4,301TEU、Voy. 2547E）から、ジェベルアリ〜ムンドラ〜ハジラ〜ナバシェバ〜コロンボ〜ダーバン〜テマ〜ティンカン〜アパパ〜ケープタウン〜ダーバン〜ジェベルアリの新ローテーションで定曜日ウィークリーサービスを開始する。

中国／中東ガルフ新設 新Red Sea 1もスタート

Greta Shipping

Greta Shipping（シンガポール）は昨年12月24日から中国と中東ガルフを結ぶChina-Gulf Express 1（CGX1）Serviceを開

始した。当初は"CSTAR VOYAGER"（1,831TEU）を投入し青島〜寧波〜ジェベリアリ〜青島のローテーションで42日ターンでサービスする。新サービスは、ジェベリアリで新Kuwait Feeder Service（KWF）に接続する。新KWFはGretaがHapag-Lloyd（独）と提携した旧Jebel Ali-Karachi Express（JKX）を改編したもので、ローテーションはジェベルアリ〜シュアイバ〜シュワイク〜ジェベルアリ。

加えて、Gretaは3日から新Red Sea 1（RS1）Serviceを開始した。サララ〜ジブチ〜サララのローテーションでウィークリーサービスする。当初3週間は"GRETA STAR"（1,730TEU）を投入するが、その後は"BHAGYA LAXMI"（1,030TEU）に代替する。

SOLAS条約改正でコンテナ海上流失 1月1日に1本から船舶に報告義務発効

国際海事機関（IMO）が2024年5月に海上における人命の安全のための国際条約（SOLAS条約）の航行の安全規定を改正し、2026年1月1日からコンテナを1本以上積載した船舶は、コンテナの海への流失を確認した場合、船長にその状況をIMOへ速やかに報告することを義務付ける規定が発効した。また海上を漂流しているコンテナを発見した場合も、速やかな報告が義務付けられている。

報告義務があるのは、船舶の識別情報、紛失・漂流位置、日時、判明している流失したコンテナの本数、コンテナのサイズと種類、危険物

の有無とUN番号で、これにより付近の船舶、関係する沿岸の当局、船舶の旗国への迅速な連絡が可能になる。

またコンテナが流失した船は、安全を確保したうえで可能な限り速やかに流失状況を検査することが期待されているほか、事故などで船を放棄した場合も、船社は可能な限り把握している情報を報告する義務がある。

国際定期船業界を代表する業界団体である世界海運



WAN HAI LINES LTD.

WE CARRY, WE CARE.

ベトナムダイレクトサービス：JSVサービス

関西／ベトナム

Fixed Day Weekly Service

ベトナムビジネスにお応えするHochiminh (Catlai port)とDanang をカバーする画期的なサービスです。

Hakata 土・日

Kobe 月・月

Osaka 月・火

Direct call to

Taipei (土) :4Days.

Kaohsiung (月) :6Days.

Danang (水) :8Days.

Hochiminh (Catlai) (金) :10Days.

General Agents: WAN HAI LINES (JAPAN), LTD.

Tokyo (03) 5511-1562 (B/L:5511-1575) Osaka (06) 4963-8601 (B/L:4963-8603)

蘭で3.4万m²規模 物流施設を取得

星港のMaple Investments

シンガポール政府系の不動産開発大手Mapletree Invesmentsはこのほど、オランダ・ウェストブラバント州ルーセンドールに位置する3万4,852m²の物流施設(写真)を取得したと発表した。

取得した倉庫はオランダ有数の物流拠点であるルーセンドールにあるビジネスパーク・ボルクヴェルフI内に位置し、高速道路に直接アクセスでき、主要都市、内陸ターミナル、港、空港への接続が優れており、ベネルクス諸国の港湾を通じて国際貿易を支える欧州



主要流通回廊である欧州メガロポリスにおけるグループの存在感を強化する。

同社は2018年の欧州物流市場参入以来、現在8カ国に82カ所の物流資産を保有し、運用資産総額は16億ユーロに達する。今年前半には、英国で2つの物流資産(ダービーDC1およびヴェルダ・パーク)ならびにスペインのバルセロナ、バレンシア、マドリード各都市の第一環状地域に分散配置された10倉庫を戦略的に取得、物流分野に加え、欧州と英国でオ

フィス、複合用途施設、学生向け住宅を所有・管理しており、2025年3月末現在の資産価値は約78億シンガポールドルに上る。

トルコ初の自動化ターミナルに 26年末に能力360万TEU

トルコ・メルシン港

PSA International(シンガポール)が豪州のファンドIFM Investors、Akfen Holding(トルコ)と合併運営するトルコ・メルシン港のコンテナターミナル、Mersin International Port(MIP)はこのほど、機能強化計画であるEast Med Hub2(EMH2)プロジェクトの第1期工事が完了し、トルコ初となる完全統合型ヤード自動化システムの稼働を開始した。

EMH2の第1期ではガントリークレーン4基と完全自動

ルール式クレーン(aRMG)14台で構成する完全統合型ヤード自動化システムを導入した。ガントリークレーン4基はアウトリーチ71m、吊り上げ能力65トンで大型コンテナ船2隻の同時荷役に対応し、aRMG14台はターミナルオペレーティングシステム(TOS)と統合し遠隔操作による自

律運転が可能で、高精度スキャナ、カメラ、センサーなどの安全システムを備え高精度かつ安全で迅速なコンテナ荷役が可能となった。aRMGによりヤード生産性は26年6月までに2倍となり、オペレーション効率が大幅に向上し、EMH2は26年末に完全稼働し、年間処理能力

が260万TEUから360万TEUに増加する見込み。

MIPはトルコのアンカラ、ガズィアンテプ、カイセリなどの工業都市やシリア・イラクなどの近隣諸国と鉄道／道路で接続、中東や黒海への積み替え拠点としても機能しトルコ最大の総貨物取扱量を誇る。

越独自建造最大型 ばら積み船が進水

ベトナム造船工業総公社(SBIC、旧Vinashin)傘下のナムチエウ造船(Nam Trieu Shipbuilding Industry Corporation: NASICO)はハイフォン市で昨年暮れ、ばら積み船"Truong Minh Dream"(写真)の進水式を開催した。同船は、ドンバック船舶工

業(Dongbac Shin)向けの新造船で、全長200.0m、幅32.3m、喫水11.3m、6万5,000dwt。ベトナムの技術者と技能労働者が主体となつて建造した新造船としては、過去最大級となる。

設計は、ベトナム造船技術(VISEC)とフィンランドの



Bluetech Finlandの企業連合体が手掛け、建造は、日本海事協会(Class NK)とベトナム船級協会(VR)の監督の下で行われた。



EVERGREEN LINE

エバーグリーン・ SHIPPING・エージェンシー・ジャパン株式会社

Tokyo (EXP BKG) (03)6408-3440 Shimizu (054)352-4559
(IMP) (03)6408-3450 Nagoya (052)232-2651
(B/L Sect) (03)6408-3510 Osaka (06)6264-6707
Fukuoka (092)674-1400

↑ Feeder Service			— All schedule subject to change with or without notice. —																			
北米西岸 (HTW/ANP)			↑TOKYO ↑Y'HAMA ↑S'MIZU ↑NAGOYA ↑Y'ICHI ↑OSAKA ↑KOBE ↑IWAKUNI ↑MOJI ↑HAKATA											Los Angeles		Tacoma		Vancouver				
EVER MODE	9V7648	1437-006E	(HTW)	1/ 8	1/ 9	1/15	1/11	1/10	1/18	1/17	1/10	1/12	1/13	2/ 2	—	—	—					
EVER SIGMA	MKKZ7	0147-139E	(ANP)	1/13	1/14	1/15	1/16	1/10	1/10	1/17	1/10	1/12	1/13	—	2/10	2/15	—					
EVER MOST	9V7650	1438-007E	(HTW)	1/17	1/18	1/19	1/20	1/19	1/24	1/21	1/19	1/19	1/20	2/ 9	—	—	—					
A VESSEL	—	—	(ANP)	1/17	1/18	1/19	1/20	1/19	1/17	1/21	1/19	1/19	1/20	—	2/17	2/22	—					
EVER MAGUS	9V7662	1439-005E	(HTW)	1/22	1/23	1/26	1/25	1/24	2/ 1	1/28	1/29	1/26	1/27	2/16	—	—	—					
A VESSEL	—	—	(ANP)	1/24	1/25	1/26	1/27	1/24	1/24	1/28	1/29	1/26	1/27	—	2/24	3/ 1	—					
EVER MAGIC	9V7661	1440-006E	(HTW)	1/29	1/30	2/ 2	2/ 1	1/31	2/ 5	2/ 4	1/31	2/ 2	2/ 3	2/23	—	—	—					
A VESSEL	—	—	(ANP)	1/31	2/ 1	2/ 2	2/ 3	1/31	1/31	2/ 4	1/31	2/ 2	2/ 3	—	3/ 3	3/ 8	—					
北米東岸 (SAX/AUE/PEX3)			↑TOKYO ↑Y'HAMA ↑S'MIZU ↑NAGOYA ↑Y'ICHI ↑OSAKA ↑KOBE ↑IWAKUNI ↑MOJI ↑HAKATA											New York	Savan-nah	Charles-ton	Norfolk	Balti-more	Hous-ton	Mobile	New Orlean	
COSCO SHIPPING PANAMA	VRXA4	002E	(SAX)	1/10	1/10	1/12	—	—	1/15	1/19	1/10	1/21	1/21	2/24	3/ 1	3/ 4	—	—	—	—	—	—
EVER MATCH	9V7672	1342-003E	(AUE)	1/ 8	1/ 9	1/10	1/11	1/10	1/10	1/10	1/10	1/12	1/13	3/ 2	2/26	—	3/ 6	3/ 7	—	—	—	—
CMA CGM DALILA	9HA6001	OPGMVE1MA	(PEX3)	—	—	—	1/ 9	1/ 9	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	3/ 2	3/ 5	3/ 7	—
OOCL BANGKOK	VRME6	067E	(SAX)	1/17	1/17	1/16	—	—	1/22	1/23	1/19	1/26	1/26	3/ 3	3/ 8	3/11	—	—	—	—	—	—
EVER MASS	9V7628	1343-007E	(AUE)	1/17	1/18	1/19	1/20	1/19	1/17	1/17	1/19	1/19	1/20	3/ 9	3/ 5	—	3/13	3/14	—	—	—	—
CMA CGM ALMAVIVA	9HA6068	OPGMXE1MA	(PEX3)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	3/ 9	3/12	3/14	—
OOCL EGYPT	VRLZ3	072E	(SAX)	1/24	1/24	1/23	—	—	1/29	2/ 2	1/29	2/ 4	2/ 4	3/10	3/15	3/18	—	—	—	—	—	—
EVER MAST	9V7629	1344-009E	(AUE)	1/22	1/23	1/24	1/25	1/24	1/24	1/24	1/29	1/26	1/27	3/16	3/12	—	3/20	3/21	—	—	—	—
CMA CGM BAALBECK	FNYYJ	OPGMZE1MA	(PEX3)	—	—	—	1/21	1/21	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	3/16	3/19	3/21	—
A VESSEL	—	—	(SAX)	1/31	1/31	1/30	—	—	2/ 5	2/ 4	1/31	2/ 7	2/ 7	3/17	3/22	3/25	—	—	—	—	—	—
A VESSEL	—	—	(AUE)	1/29	1/30	1/31	2/ 1	1/31	1/31	1/31	1/31	2/ 2	2/ 3	3/23	3/19	—	3/27	3/28	—	—	—	—
CMA CGM OHIO	9HA4132	OPGN1E1MA	(PEX3)	—	—	—	1/28	1/28	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	3/23	3/26	3/28	—
欧 州 (CEM)			↑TOKYO ↑Y'HAMA ↑SHIMIZU ↑NAGOYA ↑Y'ICHI ↑OSAKA ↑KOBE ↑IWAKUNI ↑MOJI ↑HAKATA											Rotterdam		Felixstowe		Hamburg				
EVER ACE	3E2382	1384-017W	1/17	1/18	1/19	1/20	1/19	1/18	1/19	1/19	1/19	1/12	1/21	2/25		3/ 1		3/ 5				
EVER AIM	3E3532	1385-016W	1/22	1/23	1/24	1/25	1/24	1/24	1/23	1/29	1/19	1/26	3/ 4		3/ 8		3/12					
EVER ALLY	9V8096	1386-002W	1/29	1/30	1/31	2/ 1	1/31	2/ 1	2/ 2	1/31	1/26	2/ 4	3/11		3/15		3/19					
EVER AEON	9V7306	1387-007W	2/ 5	2/ 6	2/ 7	2/ 8	2/ 7	2/ 5	2/ 4	2/ 7	2/ 2	2/ 7	3/18		3/22		3/26					
地 中 海 (MD2)			↑TOKYO ↑Y'HAMA ↑SHIMIZU ↑NAGOYA ↑Y'ICHI ↑OSAKA ↑KOBE ↑IWAKUNI ↑MOJI ↑HAKATA											Piraeus	Genoa	La Spezia	Fos Sur Mer	Valencia				
OOCL HONG KONG	VRQL9	038W	—	1/14	1/15	—	—	1/10	1/ 8	1/10	1/12	1/11	2/26	3/ 5	3/ 6	3/ 9	3/12	—				
EVER GLOBE	3FWU2	0736-025W	1/19	1/18	1/19	1/21	1/21	1/17	1/17	1/19	1/19	1/20	3/ 5	3/12	3/13	3/16	3/19	—				
OOCL INDONESIA	VRRH6	035W	1/31	1/25	1/26	2/ 2	2/ 2	1/24	1/27	1/29	1/26	1/30	3/12	3/19	3/20	3/23	3/26	—				
EVER GRADE	3FZS6	0738-027W	2/ 2	2/ 1	2/ 2	2/ 4	2/ 4	1/31	1/29	1/31	2/ 2	2/ 1	3/19	3/26	3/27	3/30	4/ 2	—				
カ リ ブ 海 (CAC/CAN)			↑TOKYO ↑Y'HAMA ↑SHIMIZU ↑NAGOYA ↑Y'ICHI ↑OSAKA ↑KOBE ↑IWAKUNI ↑MOJI ↑HAKATA											Colon C.T.	↑Barran-quilla	↑Carta-gena	↑Caucedo	↑Rio Haina	↑San Juan			
EVER MATCH	9V7672	1342-003E	1/10	1/10	1/10	1/11	1/10	1/10	1/10	1/10	1/12	1/13	2/20	2/24	2/22	3/ 2	3/ 3	3/ 5				
EVER MASS	9V7628	1343-007E	1/17	1/17	1/19	1/20	1/19	1/17	1/17	1/19	1/19	1/20	2/27	3/ 3	3/ 1	3/ 9	3/10	3/12				
EVER MAST	9V7629	1344-009E	1/24	1/24	1/24	1/25	1/24	1/24	1/24	1/29	1/26	1/27	3/ 6	3/10	3/ 8	3/16	3/17	3/19				
A VESSEL	—	—	1/31	1/31	1/31	2/ 1	1/31	1/31	1/31	1/31	2/ 2	2/ 3	3/13	3/17	3/15	3/23	3/24	3/26				
南 米 西 岸 (WSA)			↑TOKYO ↑Y'HAMA ↑SHIMIZU ↑NAGOYA ↑Y'ICHI ↑OSAKA ↑KOBE ↑IWAKUNI ↑MOJI ↑HAKATA											Manzanillo	Balboa	Buena-ventura	Callao	Val Paraiso				
EVER LINKING	2GLI9	0767-068E	1/ 8	1/ 9	1/15	—	—	1/10	1/17	1/19	1/12	1/11	2/16	2/24	2/26	3/ 3	3/ 9	3/ 9				
EVER LEGEND	9V9724	0768-074E	1/17	1/18	1/19	1/21	1/21	1/17	1/21	1/29	1/19	1/20	2/23	3/ 3	3/ 5	3/10	3/16	—				
A VESSEL	—	—	1/22	1/23	1/26	2/ 1	2/ 2	1/24	1/28	1/31	1/26	1/30	3/ 2	3/10	3/12	3/17	3/23	—				
A VESSEL	—	—	1/29	1/30	2/ 2	2/ 4	2/ 4	1/31	2/ 4	2/ 7	2/ 2	2/ 1	3/ 9	3/17	3/19	3/24	3/30	—				
南 米 東 岸 (ESA)			↑TOKYO ↑Y'HAMA ↑SHIMIZU ↑NAGOYA ↑Y'ICHI ↑OSAKA ↑KOBE ↑IWAKUNI ↑MOJI ↑HAKATA											Rio de Janeiro	Santos	Nave-gantes	Monte-video	Buenos Buenos	Para-nagua			
COSCO SHIPPING RHINE	VRRC4	040W	—	—	1/12	—	—	1/10	1/ 8	1/10	1/21	1/11	2/18	2/21	2/24	2/28	3/ 1	3/ 8				
KOTA PUSAKA	VRSB2	039W	1/19	1/20	1/16	1/21	1/21	1/17	1/17	1/19	1/26	1/20	2/25	2/28	3/ 3	3/ 7	3/ 8	3/15				
EVER FINE	3ERG5	1680-024W	1/31	2/ 1	1/23	2/ 1	2/ 2	1/24	1/27	1/29	2/ 4	1/30	3/ 4	3/ 7	3/10	3/14	3/15	3/22				
KOTA PAHLAWAN	9V5293	043W	2/ 2	2/ 3	1/30	2/ 4	2/ 4	1/31	1/29	1/31	2/ 7	2/ 1	3/11	3/14	3/17	3/21	3/22	3/29				
南 ア フ リ カ (ASA)			↑TOKYO ↑Y'HAMA ↑SHIMIZU ↑NAGOYA ↑Y'ICHI ↑OSAKA ↑KOBE ↑IWAKUNI ↑MOJI ↑HAKATA											Durban		Cape Town						
COSCO WELLINGTON	VRME3	101W	1/17	1/18	1/19	1/20	1/19	1/17	1/17	1/19	1/21	1/20	2/18		2/25		2/25					
A VESSEL	—	—	1/22	1/23	1/24	1/25	1/24	1/27	1/21	1/29	1/26	1/30	2/25		3/ 4		3/ 4					
KOTA LEGIT	9V8481	075W	1/29	1/30	1/31	2/ 1	1/31	1/29	1/28	1/31	2/ 4	2/ 1	3/ 4		3/11		3/11					
EVER ULYSSES	9V7962	172W	2/ 5	2/ 6	2/ 7	2/ 8	2/ 7	2/ 5	2/ 4	2/ 7	2/ 7	2/ 8	3/11		3/18		3/18					
オーストラリア (CAT)			↑TOKYO ↑Y'HAMA ↑SHIMIZU ↑NAGOYA ↑Y'ICHI ↑OSAKA ↑KOBE ↑IWAKUNI ↑MOJI ↑HAKATA											Melbourne		Sydney		Brisbane				
YM EVOLUTION	BLHN	099S	1/17	1/18	1/19	1/20	1/19	1/17	1/17	1/10	1/12	1/13	2/12		2/16		2/19					
YM EVOLUTION	BLHN	099S	1/22	1/23	1/24	1/25	1/24	1/24	1/21	1/19	1/19	1/20	2/12		2/16		2/19					
YM ESSENCE	BLHO	099S	1/29	1/30	1/31	2/ 1	1/31	1/31	1/28	1/29	1/26	1/27	2/19		2/23		2/26					
EVER ENVOY	VSOL9	200S	2/ 5	2/ 6	2/ 7	2/ 8	2/ 7	2/ 7	2/ 4	1/31	2/ 2	2/ 3	2/26		3/ 2		3/ 5					

25年1～11月貨物鉄道通行量 ドスティク／アラ山口検問所 カザフスタン

カザフスタンと中国の国境となるドスティク／アラ山口間における昨年1～11月の鉄道による越境コンテナ輸

送量は、総輸送量が貨車ベースで1%増の45万200両・重量ベースで6%増の1,780万トンだった。うち輸出は貨車ベースでほぼ前年並みの20万9,700両、重量ベースで前年同期比4%増の1,290万トン、輸入は1%

増の24万1,000両・12%増の480万トン、またカザフスタンからの純輸出力は6%増の13万8,900両、トン数ベースで10%増の920万トンだった。

カザフスタンはこのほど、中国国境のホルゴス近郊の

複合輸送鉄道施設・MIT稼働 輸入貨物モーダルシフト促進 メルボルン港近郊

豪州・メルボルンの北部・ソマートン物流地区でこのほど、年金ファンド、Aware Superの支援のもと開発した同国で最大規模の複合輸送ターミナル、Melbourne Intermodal Terminal (MIT) が稼働を開始した。

メルボルン港はこれに合わせMITを、コンテナ輸送をトラックから鉄道に転換するインセンティブ制度の対象に選定し、稼働開始とともにMITの利用促進を支援し、輸入コンテナでは同港から

MITへコンテナを輸送する場合、1TEUあたり100米ドル、1FEUあたり200米ドルを助成している。

MITの設計、開発、運営はIntermodal Terminal Company (ITC) が担い、保税施設、空コン管理・修理、洗浄施設、燻蒸施設などの施設を備え、年間最大100万TEUを処理できるとい



う。メルボルン港からは20kmの位置にあり、高速道路と州間鉄道が接続し、近隣にはビクトリア州のコンテナ貨物の20%と350万m²規模の倉庫群が立地している。

すでに、昨年11月の稼働開始から昨年末のクリスマスまでに港との間でコンテナ1,000本以上を輸送したと試算している。

国境検問所に近いアルティンコリ操車場を改修し、新たに引き込み線を6本増設、1日の列車の処理便数を従来の20便から28便に増強し、取扱量を40%増強した。

またアルティンコリとアルマトイ近郊のジェティゲン間の32kmの複線インフラの整備を進め、1日の鉄道運航便数を18便から33便に増強する。完成は2026年の予定。

カザフスタンは中国から欧州向けの中欧班列の通過点として近年取扱量が増加しているが、需要の増加により列車の混雑が深刻化しており、新たな鉄道インフラ開発により混雑解消を図る。

那覇港公共国際CTの 契約をNICTIと調印 那覇港管理組合

那覇港公共国際コンテナターミナルと那覇国際コンテナターミナル (NICTI) は、2025年12月に第2期 (運営期間:2016年1月1日～2025年12月31日) の同ターミナルの賃貸借契約が終了することから、第3期 (2026年1月1日～2035年12月31日) の運営事業に向け、2025年12月23



日に賃貸借契約に調印した。同ターミナルは港湾法54条の3に基づく特定埠頭運営事業として、三井倉庫を中核企業とするNICTIが、2016年から賃貸借契約に基づき運営している。調印したのは、那覇港管理組合の管理者、玉城デニー沖縄県知事 (写真右) とNICTIの福島則之社長 (同左)。

1～11月コンテナ取扱量 4.9%増・526.1万TEU バレンシア港

スペイン・バレンシア港における昨年11月の総貨物取扱量は前年同月比10.2%増の

665万3,192トンで、コンテナは個数ベースで18.5%増の48万1,691TEUと2ケタのプラスになった。

昨年1～11月の総貨物取扱量は前年同期比0.2%減の7,382万4,678トンで、う

ち輸出は7.9%増加、輸入は14.5%増加した。コンテナ取扱量は個数ベースで4.9%増の526万1,450TEUだった。中国、米国、アルジェリア、モロッコとの取扱量が過去最高を記録した。

Air 航空 国際航空貨物需要、26年は3～4%増 AI、ECが引き続き成長エンジンに

ノルウェーの世界的な海上・航空貨物の運賃分析と市場の可視化プラットフォームを提供するスタートアップ企業、Xenetaによると、2025年の航空貨物市場は、世界貿易と経済政策の観点から、過去20年間で最も不確実な年として記録された。米中貿易摩擦の再激化、米国のあらゆる分野での関税引き上げ、少額輸入貨物の免税制度デミニミスの廃止、地政学リスクなどが重なり、世界の貿易秩序を揺るがした。それにもかかわらず、当初の懸念に反して、航空貨物市場は比較的堅調な傾向を維持して2025年を終えた。2026年は、貨物需要が年率3～4%の緩やかな増加を予測する。

航空運賃 1～2% 下落

2025年は関税回避のための前倒しや電子商取引 (EC)、AI (人工知能) や半導体関連の高付加価値貨物の増加が需要を下支えしたが、航空運賃は市場心理の弱まりと供給増加により年率1～2%下落したと推定する。

2026年は、マクロ環境がさらに冷え込む。国際通貨基金 (IMF) は2026年の世界のGDP成長率を3.1%と予測し、世界貿易機関 (WTO) は商品貿易の伸び率が2025年の2.4%から2026年には0.5%に急減すると予測している。航空貨物は伝統

的に実体経済よりも変動が大きいと、この減速の影響を直接的に受ける可能性が指摘されている。

需要面では、航空貨物市場が2026年に世界全体の経済成長率に収束すると予想する。2025年の好調な業績は、構造的な需要の拡大ではなく、関税リスクによる一時的な要因が大きいと評価、米国の実効関税率は1930年代以来の最高水準にあり、2025年には平均約16%となり、最終的には輸入価格の上昇を通じて企業や消費者に転嫁されている。

デミニミス廃止もEC成長

2026年は、貨物需要が年率3～4%の緩やかな増加を予測する。路線ごとに明確な差別化が図られ、アジア～米路線は米中貿易の減少の直撃を受け、2025年までに累計ベースで2ケタ近い減少となった。一方、アジア～欧州路線は最も顕著な業績を示し、ECやサプライチェーン再編の効果で2ケタ成長を続けた。欧州が世界のサプライチェーンにおける迂回路および中継ハブとしての役割を強化していることも注目に値するとしてい

る。

ECは依然として航空貨物需要に影響を与える重要な要因で、米国のデミニミス廃止後、中国から米国への低価格ECの航空貨物量は激減したが、欧州市場への移行は急速に進んだ。

Shein や Temuなど中国の激安ECサイトは、広告戦略と物流戦略を欧州に移すことで売上げを拡大した。ただ、2026年にはEUもデミニミスの改革や規制の強化が予想されており、ECの成長ペースは鈍化する可能性が高い。それにもかかわらず、ECの貨物量は依然として航空貨物市場全体の平均よりも速いペースで成長すると予想されている。

海上へ逆モーダルシフト

海上輸送環境の変化によるモーダルシフトも重要な変数としている。イエメンの武装組織フーシ派による商船攻撃、いわゆる紅海危機で高騰した海上運賃が徐々に安定し、2026年には航空から海上への逆モーダルシフトが避けられないと予想されている。特に中東・南アジア～欧州路線では航空貨物需要に若干の減少圧力がかかる見込み。航空貨物は「日常の輸送手段」としてではな

く、サプライチェーンのショックに対応するために再び利用される可能性が高いとみている。

一方、AI関連の需要が2026年の航空貨物市場の最も強力な成長原動力になると考えている。半導体、サーバー、データセンター機器などの高額かつ緊急性の高い貨物は、航空輸送の競争力を際立たせている。AI関連の航空貨物、特に台湾～米国間路線では2025年に2桁の成長率を記録し、この傾向は2026年も続く予想している。

三重苦で構造転換へ

供給面では、世界の航空貨物供給量は2026年に3～4%増加し、需要の伸び率 (2～3%) を上回ると予想する。ワイドボディ貨物機 (A350F、B777-8F) の納入遅延により、短期的には供給過剰はある程度緩和されるものの、全体的な需給構造から運賃引き下げ圧力を回避することは困難で、この圧力は、ベリー供給の割合が高いルートではさらに大きくなることが予想されるとしている。

このため、2026年には航空貨物運賃が全体で5～10%下落する可能性がある。航空会社とフォワーダーの関係は長期固定契約から

短期・スポットを中心とした柔軟な体制へ移行しており、荷主もコスト削減を最優先に海上輸送やハイブリッド輸送の検討を積極的に行っている。

Xenetaでは、航空貨物市場は低成長、供給拡大、運賃下落という三重苦の中で、2026年に構造転換に直面する可能性が高いとみている。ただし、AIやECなどの特定の需要層は引き続き市場を支える重要な柱として機能すると予想。地政学的リスク、気候、サイバー脅威などの「予想不可能」かつ「発生時の衝撃が極めて大きい」事象「ブラックスワン」の可能性が常にある環境では、航空貨物市場のパフォーマンスはスピードではなく柔軟性と対応力によって決まるとみている。

関空の11月運用実績 国際貨物は便数減も取扱量2%増に

関西エアポートが発表した関西国際空港の11月の運用状況は、航空機発着回数が国際線で前年同月比11%増の1万4,000回、国内線は14%減の3,379回、合計では5%増の1万7,379回となった。

旅客数は国際線が12%増の235万7,773人、うち外国人は前年を9%上回る181万4,171人と好調を持続、日

本人も20%の大幅増で44万8,321人、合計では7%増の285万6,989人となった。

国際貨物便の発着回数は1,567回で前年同月比4%の減少となったが、取扱貨物量は2%増の7万1,176トンで14カ月連続のプラスとなった。国内線は28%減の612トンで8カ月連続のマイナスだった。

中部空港の11月運用実績 外国人旅客が5カ月ぶり減少

中部国際空港が発表した11月の運用実績は、国際線の航空機発着回数が前年同月比4%減の3,009回、うち旅客便が7%増の2,605回、貨物便が28%の大幅減で338回だった。国内線も4%減の4,467回と2カ月連続のマイナスとなった。

国際便の旅客数は6%増の43万6,100人、うち外国人が1%減の25万1,100人、日本人が17%増の18万5,000人と明暗を分けた。

国際貨物取扱量は7%減の1万993トンで2カ月連続のマイナスとなった。積込量は4.0%減の5,408トンと2カ月連続減、取卸量は10%減の5,585トンで23カ月ぶりにマイナスに転じた。

EXCHANGE QUOTATIONS (Closing)											
Currencies		U.S. \$		EURO		STG. £		CHF			
Date	Spot	TTS Yen	TTB Yen	TTS Yen	TTB Yen	TTS Yen	TTB Yen	TTS Yen	TTB Yen	TTS Yen	TTB Yen
12/26 (Fri)		157.51	155.51	185.98	182.98	215.46	207.46	199.39	197.59		
25 (Thu)		156.92	154.92	184.96	181.96	214.96	206.96	198.94	197.14		
23 (Tue)		157.75	155.75	185.96	182.96	215.25	207.25	198.94	197.14		
19 (Fri)		156.85	154.85	184.23	181.23	212.64	204.64	197.06	195.26		
18 (Thu)		156.61	154.61	184.19	181.19	212.11	204.11	196.54	194.74		
16 (Tue)		156.12	154.12	183.78	180.78	211.44	203.44	195.70	193.90		
12 (Fri)		156.71	154.71	184.27	181.27	212.57	204.57	196.79	194.99		
11 (Thu)		156.87	154.87	183.87	180.87	212.60	204.60	195.81	194.01		
9 (Tue)		157.03	155.03	183.09	180.09	211.91	203.91	194.32	192.52		

Shipping Guide

株式会社 **オーシャン コース**

住所 : 〒105-0013
東京都港区浜松町1-2-11 美ビル
電話 : 03(3435)7630 / 7658
(総務・経理・販売)

☎ : 0120-827773
(購読・書籍の問い合わせ、申し込み)
FAX : 03(3435)7896
(総務・経理・販売・制作)

郵便振替口座番号 東京 0-63646
みずほ銀行 神田駅前支店
普通口座 1210053

定期購読料金 (8%消費税込価格)

1部 416円 1カ月 5,551円
3カ月 13,867円 6カ月 22,032円
基本年間契約 38,880円
法人一括(3事業所で3部購読) 77,760円

Shipping Guide



基本発行日：祝日を除く月、水、金曜日 1部499円
発行所 株式会社 オーシャンコマース 〒105-0013東京都港区浜松町1丁目2番11号(葵ビル)
TEL：(03)3435-7470(編集)・7510(広告・スケジュール)・7630(販売・総務)
FAX：(03)3435-7892(編集・広告・スケジュール) ☎0120-827-773(購読・書籍のお問い合わせ、申し込み)

タイニン省ロンハウ工業団地に冷蔵倉庫建設

五十嵐冷蔵 | ベトナムの冷蔵保管需要に対応

五十嵐冷蔵は、ベトナムのタイニン省(旧ロンアン省)カンジュオク県のロンハウ工業団地に、100%出資現地法人を2024年11月に設立、2025年12月9日に冷蔵倉庫新設に向けて地鎮祭を開催、2027年6月の竣工を目指して2026年1月に着工する。同社は、冷蔵倉庫業、普通倉庫業、運輸業、食品商社・卸業などを展開、冷蔵倉庫事業では日本国内11拠点を構えるほか、海外では1990年に進出したタイで冷蔵倉庫3拠点を展開している。

さらにベトナムに現法と倉庫を新設することで、人口が約1億人、平均年齢も約30歳前半と若い同国で食品流通拡大の一翼を担い、海外事業の成長と日本国内で重要な働き手となっているベトナム国民への貢献を目指す。特にベトナムに展開している日本国内やタイ拠点の顧客をはじめ、冷蔵保管ニーズの高まりに 대응するとともに、同社の食品商社・卸業でも連携を進めていく方針だ。ベトナム現地法人 Igarashi Vietnam Co. Ltd. は、五十嵐冷蔵が100%出

資し、資本金4,730億ベトナムドン(約28億円)で設立、着工する新倉庫は、敷地面積が3万6,600m²、延べ床面積が1万8,556.56m²の規模で、収容能力は約2万2,000パレット。

自動ラック(冷凍：約1



日中中日物流用語集

根岸 宏和 編

日中間のフォワーディング業務のパイオニアが長年の経験に基づきまとめた物流用語集。日本語・中国語・ビンイン・英語・語意を日本語と中国語の見出し語から引ける構成で、見出し語数はそれぞれ1,292語。著者は東京外国語大学で中国語を専攻、日本通運の中国部門で実務に携わり、中国で「物流」を「ことば」として根付かせた中国物流のエキスパート。日通退職後、霞山会の事務局長を経て、現在も中国の物流事情の調査・研究に携わり、本書は長年のライフワークの集大成の第一弾。職場に一冊は備えたい実務者必携の用語集。

B6判、244頁 定価2,200円(税込)

TEL.03-3435-7630 FAX.03-3435-7896 info@ocean-commerce.co.jp

株式会社 オーシャンコマース



万1,000パレット)、移動ラック(冷凍・冷蔵・定温・ドライ：約1万1,000パレット)のほか、急速凍結設備、解凍設備、省エネルギー自然冷媒冷凍機、太陽光発電設備(1,067kWp)、自家発電設備、陽圧空調システム、テナント用レンタルオフィス(5部屋)を備える。新倉庫を建設するロンハウ工業団地は、ホーチミン市の中心まで19km、カトライ港まで25km、タンソンニャット国際空港まで

25kmと陸海空の接続に適した好立地にある。

外貿コンテナ取扱量 3.6%減118.7万TEU 10月主要6港速報

国土交通省がとりまとめた25年10月分の港湾統計速報によると、主要6港(東京、川崎、横浜、名古屋、大阪、神戸)の外貿コンテナ取扱個数は前年同月比3.6%減の118万6,794TEUと、2カ月連続で減少した。このうち輸出が6.4%減の58万1,280TEU、輸入は0.7%減の60万5,514TEUとともに減少した。港湾別では、東京港が2.5%減の35万5,700TEU、輸出が3.3%減の15万9,547TEU、輸入が1.9%減

の19万6,153TEU。川崎港は1.9%増の6,275TEU、うち輸出が14.5%増の3,017TEU、輸入が7.6%減の3,258TEU、横浜港は4.1%増の24万6,523TEU、うち輸出が1.2%増の13万2,792TEU、輸入が7.6%増の11万3,731TEUだった。名古屋港は0.2%増の23万3,949TEU、輸出が2.4%減の12万713TEU、輸入は3.2%増の11万3,236TEUだった。大阪港は、7.3%減の18万184TEU、うち輸出が8.6%減の8万2,790TEU、輸入が6.3%減の9万7,394TEU、神戸港は16.0%減の16万4,163TEU、うち輸出が23.9%減の8万2,421TEU、輸入も6.1%減の8万1,742TEUとなった。



We take it personally

Orient Overseas Container Line Limited

INTERNET WEB SITE:<http://www.oocl.com/japan/jpn/> [ISO 9002取得]

カスタマーサービス直通電話

輸出・全航路：(03)3493-6260 FAX(03)3493-6405

輸入・全航路：(03)3493-6262 FAX(03)3493-5797

B/L、D/Oカウンター：(03)5289-4551

YOKOHAMA：662-5983

SHIMIZU：0120-975-324 (総合)

0120-975-366 (リーファー)

KOBE：303-8222

OSAKA：6573-3888 (B/L発行)

NAGOYA：231-6565

KTX1+ECX1	Osaka	Kobe	Tokyo	Yokohama	Nagoya	New York	Savannah	Charleston
San Lorenzo 308S	1/18-18	1/17-18	1/15-15	1/15-16	1/16-17	3/ 3	3/ 8	3/11
Manet 050S	1/25-25	1/24-25	1/22-22	1/22-23	1/23-24	3/10	3/15	3/18
AS Anne 014S	2/ 1- 1	1/31- 1	1/29-29	1/29-30	1/30-31	3/17	3/22	3/25

KTX3+ECC1	Tokyo	Nagoya	Yokkaichi	Kobe	Savannah	New York	Norfolk	Baltimore
OOCL New Zealand 162S	1/12-13	1/13-14	1/14-14	1/15-15	3/ 5	3/ 9	3/13	3/15
Vancouver 051S	1/19-20	1/20-21	1/21-21	1/22-22	3/12	3/16	3/20	3/22
OOCL Norfolk 300S	1/26-27	1/27-28	1/28-28	1/29-29	3/19	3/23	3/27	3/29

JPX	Kobe	Nagoya	Tokyo	Los Angeles	Oakland
ONE Hammersmith 088E	1/16-18	1/19-20	1/22-23	2/ 4	2/10
NYK Virgo 088E	1/23-25	1/26-27	1/29-30	2/11	2/17
ONE Altair 072E	1/30- 1	2/ 2- 3	2/ 5- 6	2/18	2/24

KTX3+PNW1	Tokyo	Nagoya	Yokkaichi	Kobe	Vancouver	Seattle
OOCL New Zealand 162S	1/12-13	1/13-14 —— No Sailing —— No Sailing	1/14-14	1/15-15	2/ 9	2/13

EUROPE	Tokyo	Y'hama	Nagoya	Y'ichi	Kobe	Osaka	STN	LEH	RTM	HAM	ANR	FLX	ZEE	GDN
San Lorenzo 308S	—	15-16	—	—	—	18-18	3/ 9	3/10	3/10	3/14	3/18	3/ 8	3/11	3/18
Vancouver 051S	1/19-20	—	19-21	21-21	22-22	—	3/ 9	3/10	3/10	3/14	3/12	3/ 8	3/11	3/18
Manet 050S	—	22-23	—	—	—	25-25	3/16	3/17	3/17	3/21	3/19	3/15	3/18	3/25
OOCL Norfolk 300S	1/26-27	—	26-28	28-28	29-29	—	3/16	3/17	3/17	3/21	3/19	3/15	3/18	3/25
AS Anne 014S	—	29-30	—	—	—	1- 1	3/23	3/24	3/24	3/28	3/26	3/22	3/25	4/ 1
Phen Basin 126S	2/ 2- 3	—	2- 4	4- 4	5- 5	—	3/23	3/24	3/24	3/28	3/26	3/22	3/25	4/ 1
Cape Syros 088S	—	5- 6	—	—	—	8- 8	3/30	3/31	4/ 4	4/ 8	4/12	3/29	4/ 1	4/ 8
OOCL New Zealand 163S	2/ 9-10	—	9-11	11-11	12-12	—	3/30	3/31	4/ 4	4/ 8	4/12	3/29	4/ 1	4/ 8

AUSTRALIA	Yokohama	Nagoya	Osaka	Melbourne	Sydney	Brisbane
Als Hercules 005S	1/14-15	—	1/16-17	2/11	2/15	2/18
Als Clivia 005S	1/21-22	—	1/23-24	2/18	2/22	2/25
Pelion 005S	1/28-29	—	1/30-31	2/25	3/ 1	3/ 4

台湾・香港・中国	東京	仙台	常陸那珂/鹿島	千葉	川崎	横浜	清水	名古屋	四日市	神戸	大阪	高雄	台中	桃園	香港	蛇口	福州	厦門	黄浦
Manet 050S	1/22-22	(1/16)	(1/20)	(1/20)	(1/21 am)	1/22-23	—	1/23-24	—	1/24-25	1/25-25	—	1/29	1/29	1/30	1/31	—	—	—
GSL Maren 024S	1/18-18	(1/ 9)	(1/13)	(1/16 am)	(1/16 am)	1/18-19	—	1/20-20	—	1/21-21	1/21-17	—	—	—	1/24	(泉州 1/24)	—	—	—
Vancouver 051S	1/19-20	(1/16)	(1/15)	(1/16 am)	(1/16 am)	—	—	1/20-20	1/21-21	1/22-22	1/21-22	1/25	1/26	1/27	—	1/27	1/29	1/29	—
Cape Fortius 155S	1/23-24	(1/19)	(1/20)	(1/20)	(1/21 am)	1/24-24	—	—	—	1/22-22	1/21-22	1/29	—	—	1/30	—	2/ 1	2/ 2	—
Jinyunhe 1926S	1/21-22	—	—	—	—	1/22-22	—	1/22-24	—	1/24-25	—	—	—	—	—	(南沙 1/29)	—	—	—
AS Anne 014S	1/29-29	(1/23)	(1/27)	(1/27)	(1/28 am)	1/29-30	—	1/30-31	—	1/31- 1	2/ 1- 1	—	2/ 5	2/ 5	2/ 6	2/ 7	—	—	—
Moresby Chief 015S	1/25-25	(1/19)	(1/20)	(1/23 am)	(1/23 am)	1/25-26	—	1/27-27	—	1/28-28	1/23-24	—	—	—	1/31	(泉州 1/31)	—	—	—
OOCL Norfolk 300S	1/26-27	(1/23)	(1/22)	(1/23 am)	(1/23 am)	—	—	1/27-27	1/28-28	1/29-29	—	2/ 1	2/ 2	2/ 3	—	2/ 3	2/ 5	2/ 5	—
Als Venus 084S	1/30-31	(1/26)	(1/27)	(1/27)	(1/28 am)	1/31-31	—	—	1/29-29	1/29-29	1/28-29	2/ 5	—	—	2/ 6	—	2/ 8	2/ 9	—
Caiyunhe 1928S	1/28-29	—	—	—	—	1/29-29	—	1/29-31	—	1/31- 1	—	—	—	—	—	(南沙 2/ 5)	—	—	—

東南アジア・海峽地	東京	仙台	常陸那珂/鹿島	千葉	川崎	横浜	清水	名古屋	四日市	神戸	大阪	Singapore	Jakarta	Pt. Kelang	P. Gudang	Semarang	Surabaya	Belawan	Yangon	Penang
Manet 050S	1/22-22	(1/16)	(1/20)	(1/20)	(1/21 am)	1/22-23	—	1/23-23	—	1/23-25	1/25-25	2/ 5	—	2/ 6	2/ 8	2/11	2/11	2/12	2/17	2/16
Vancouver 051S	1/19-20	(1/16)	(1/15)	(1/16 am)	(1/16 am)	—	—	1/20-21	1/21-21	1/22-22	—	1/31	2/ 3	2/ 8	2/ 8	2/ 6	2/ 7	2/ 5	2/10	2/11
Cape Fortius 155S	1/23-24	(1/19)	(1/20)	(1/20)	(1/21 am)	1/24-24	—	—	—	1/22-22	1/21-22	—	2/10	—	—	—	—	—	—	—
AS Anne 014S	1/29-29	(1/23)	(1/27)	(1/27)	(1/28 am)	1/29-30	—	1/30-30	—	1/30- 1	2/ 1- 1	2/12	—	2/13	2/15	2/18	2/18	2/19	2/24	2/23
OOCL Norfolk 300S	1/26-27	(1/23)	(1/22)	(1/23 am)	(1/23 am)	—	—	1/27-28	1/28-28	1/29-29	—	2/ 7	2/10	2/13	2/15	2/13	2/14	2/12	2/17	2/18
Als Venus 084S	1/30-31	(1/26)	(1/27)	(1/27)	(1/28 am)	1/31-31	—	—	1/29-29	1/29-29	1/28-29	—	2/17	—	—	—	—	—	—	—

KTX 1, 2, 3, 4 台湾・香港・中国	志布志	大分 細島/油津	博多	門司	高松/徳島	松山/今治	岩国	宇部	徳山	広島	水島	和歌山	神戸	高雄	台中	香港	蛇口	福州	厦門	黄浦
Manet 050S	(1/20 am)	1/16	1/16	1/21	1/16	1/16	1/21	(1/22 am)	1/21	1/21	(1/22 am)	1/22	1/24-25	—	1/29	1/30	1/31	—	—	—
GSL Maren 024S	(1/13 am)	1/16	1/16	1/16	1/16	1/16	1/16	(1/20 am)	1/16	1/16	1/16	1/15	1/21-21	—	—	1/24	(泉州 1/24)	—	—	—
Vancouver 051S	(1/13 am)	1/16	1/16	1/16	1/16	1/16	1/16	(1/20 am)	1/16	1/16	1/16	1/15	1/22-22	1/25	—	—	1/27	1/29	1/29	—
Cape Fortius 155S	(1/13 am)	1/16	1/16	1/16	1/16	1/16	1/16	(1/20 am)	1/16	1/16	1/16	1/15	1/22-22	1/29	—	1/30	—	2/ 1	2/ 2	—
AS Anne 014S	(1/27 am)	1/23	1/23	1/28	1/23	1/23	1/28	(1/29 am)	1/28	1/28	(1/29 am)	1/29	1/31- 1	—	2/ 5	2/ 6	2/ 7	—	—	—
Moresby Chief 015S	(1/20 am)	1/23	1/23	1/23	1/23	1/23	1/23	(1/27 am)	1/23	1/23	1/23	1/22	1/28-28	—	—	1/31	(泉州 1/31)	—	—	—
OOCL Norfolk 300S	(1/20 am)	1/23	1/23	1/23	1/23	1/23	1/23	(1/27 am)	1/23	1/23	1/23	1/22	1/29-29	2/ 1	—	—	2/ 3	2/ 5	2/ 5	—
Als Venus 084S	(1/20 am)	1/23	1/23	1/23	1/23	1/23	1/23	(1/27 am)	1/23	1/23	1/23	1/22	1/29-29	2/ 5	—	2/ 6	—	2/ 8	2/ 9	—

KTX 1, 3 東南アジア・海峽地	Singapore	Jakarta	Port Kelang	Pasir Gudang	Semarang	Surabaya	Belawan	Yangon	Penang
Manet 050S	2/ 5	—	2/ 6	2/ 8	2/11	2/11	2/12	2/17	2/16
Vancouver 051S	1/31	2/ 3	—	2/ 8	2/ 6	2/ 7	2/ 5	2/10	2/11
AS Anne 014S	2/12	—	2/13	2/15	2/18	2/18	2/19	2/24	2/23
OOCL Norfolk 300S	2/ 7	2/10	—	2/15	2/13	2/14	2/12	2/17	2/18

SOUTH KOREA/CHINA		東京	横浜	名古屋	神戸	大阪	釜山	上海	青島	張家港	南京	鎮江	太倉	連雲港
Mild Tune	2603S	1/14-14	1/15-15	—	—	—	—	1/17	—	1/23	1/25	1/27	1/17	1/31
JJ Tokyo	2602W	—	—	1/14-14	—	—	—	1/17	—	1/23	1/25	1/27	1/17	1/31
JJ Sun	2603S	—	—	—	1/16-16	1/15-17	—	1/19	—	1/23	1/25	1/27	1/19	1/31
Als Juno	004S	—	1/14-15	—	—	1/15-17	1/19	—	1/22	—	—	—	—	—
Consero	2604S	1/21-21	1/22-22	—	—	—	—	1/24	—	1/30	2/ 1	2/ 3	1/24	2/ 7
JJ Tokyo	2603W	—	—	1/21-21	—	—	—	1/24	—	1/30	2/ 1	2/ 3	1/24	2/ 7
Harrier	2604S	—	—	—	1/23-23	1/22-24	—	1/26	—	1/30	2/ 1	2/ 3	1/26	2/ 7
Als Luna	004S	—	1/21-22	—	—	1/22-24	1/26	—	1/29	—	—	—	—	—